

第3回松浪地区まちぢから協議会運営委員会 議事要旨

日 時：平成 25 年 7 月 17 日 18:30-21:00

場 所：松浪自治会館

出席者：植松委員、前田委員、中嶋委員、大類委員、小西委員（代理）、有川委員、辻委員
平松委員、牧島委員、松井委員、名井委員、北村委員、水島委員、小野江委員、田島委員
市（市民自治推進課：益田主任）

欠席者：渡辺委員

1 安全対策部会の設置について

- ・安全対策部会の事業及びメンバーについて
- ・安全対策部会設置に向けた進め方について

○各委員会から安全対策分野の活動の状況について情報共有

【浜竹一丁目自治会】

- ・浜一防犯パトロール：月 2 回実施、夜間約 1 時間
- ・学童見守り隊：7 時 30 分～8 時 10 分実施（松浪一丁目交差点付近に誘導員 3 名配置）
浜竹二丁目自治会と合同
- ・防犯灯の点検：防犯パトロールで最終的に集約し、市へ要望

【浜竹二丁目自治会】

- ・学童見守り隊：毎日実施（6 人交代）、浜竹一丁目自治会と合同
- ・地域パトロール：毎月第 4 土曜日 15 時 30 分～16 時 30 分実施（6～7 人）
防犯灯が切れいているなど、巡回して気が付いたことをまとめている。

【浜竹三丁目自治会】

- ・夜間の防犯パトロール：3 の付く日に実施（3 日、13 日、23 日、30 日）
災害時要援護者、独居老人の安否確認もできる範囲で合わせて実施
自治会の有志、組長（当番表で順番を決めている）が参加
備品（旗、メガホン、電燈など）を持ち、二班に分かれ実施
- ・学童見守り隊：下校時のみ、5～6 名で実施
災害時要援護者、独居老人の安否確認もできる範囲で合わせて実施
自治会の有志が参加
- ・防犯灯の点検：切れた場合は組長が対応
- ・その他：民生委員が自分の担当している範囲を定期的に巡回

【浜竹四丁目自治会】

- ・防犯灯の点検：切れた場合は、気が付いた方が連絡するようにしている。

【松浪二丁目自治会】

- ・夜間パトロール：第 3 土曜日 19 時 30 分～実施

防犯交通安全部を中心に実施

- ・学童見守り：登下校時のみ、自治会の有志が参加、2か所に分かれ実施
- ・防犯灯の点検：切れた場合は役員に連絡して対応

【富士見町自治会】

- ・夜間パトロール：第2土曜日実施
防犯部の街灯班が実施
- ・防犯に関する講習：警察に依頼して年1回実施、実施実績「テーマ：振り込め詐欺」

【常盤町自治会】

- ・夜間パトロール：第1・第3火曜日17時～18時実施、第2、第4火曜日20時～21時実施
防犯灯も合わせて確認
- ・汐見台小学校学童見守り隊：4ヶ所交差点で各2名程度配置
汐見台小学校主催で月1回程度ミーティング
地域住民の有志が参加、開校1年目市側が交通指導員を配置したが2年目以降から実施している
- ・その他：子どもを守る地域の会に参加、汐見台小推進協主催の通学路パトロールに参加、松浪中学校
夜間パトロールに参加

【緑が浜自治会】

- ・学童見守り隊：緑が浜小学校の通学路で見守り活動を実施
- ・汐見台小学校学童見守り隊：4ヶ所交差点で各2名程度配置
汐見台小学校主催で月1回程度ミーティング
地域住民の有志が参加、開校1年目市側が交通指導員を配置したが2年目以降から実施している
- ・防災パトロール：第3土曜日に実施（子どもパトロール隊も組織し、子どもと大人が一緒になり活動をしている。）
- ・朝市の交通整理：月2回
- ・子ども公園の危険箇所チェック：薄暗い部分があるので草刈等を実施し、花を植えるなどの整備を行っている、自治会役員・地域住民が参加

【LG富士見町自治会】

- ・学童見守り：個人レベルで実施
- ・防犯灯の点検：富士見町自治会の管轄であるので、切れていることに気が付いたら富士見町自治会へ連絡

【汐見台自治会】

- ・汐見台小学校学童見守り隊：4ヶ所交差点で各2名程度配置
汐見台小学校主催で月1回程度ミーティング
地域住民の有志が参加、開校1年目市側が交通指導員を配置したが2年目以降から実施している
- ・その他：防犯協会の立て看板を先々代の自治会長宅（一戸建て）に設置

【ひばりが丘自治会】

- ・防犯灯の点検：2ヶ月に1回実施
- ・カーブミラーの点検：2ヶ月に1回実施
- ・その他：防犯交通部が推進協主催のパトロールに参加

【美住町自治会】

- ・防犯灯の点検：切れた場合は組長が対応
- ・防犯パトロール：月2回19時から実施、3班に分かれて実施、防犯交通部が中心となり自治会有志が参加（23名程度）
- ・学童見守り：登校時のみ、自治会ではなく地域住民の有志が実施（4名程度）
- ・その他：「自転車止まれ」16枚と「足型の止まれ」9枚のステッカー貼り付け

【小野江委員】

- ・子どもを守る地域の会：推進協3団体、浜小・浜中PTAが参加
子どもを見守ることに関する啓蒙活動を実施
「あいさつの街」の看板を設置
→昨年は松浪中学校の美術部に協力してもらい作成した
今年には浜須賀中学校の美術部に協力してもらう予定
- ・各小学校区パトロール：年2回実施
危険箇所などをチェックし、PTAなどと話し合いをしている
- ・その他：緑が浜小学校学童見守りに参加（PGTの見守り活動に青少年指導員が入り、一緒になり活動している）、推進協・PTA・学校が協力をしながら取り組みをしている

【出口町自治会】

- ・防犯灯の点検：防犯部長が管理
- ・学童見守り：登校時のみ、7時40分～8時40分実施、10人程度が参加
- ・防犯パトロール：冬の夕方頃実施、自治会の有志が参加、自転車で巡回
- ・交通講習会

○「塾帰りの子どもは帰りが遅いので、見守りをやってはどうか。」との話が、子どもを守る地域の会の会議の中で意見として出ていた。

→自転車の乗り方が危ない（無灯火、横一列で並走など）

○「夜間パトロール」、「危険箇所パトロール」を小学校区（緑が浜小、松浪小、汐見台小）で実施。

→松浪中学校では夜間パトロールを実施。

○交差点での事故防止のために道路に色を塗装してもらいたいということ、全部で4ヶ所要望したことがあったが、それぞれの場所同士との距離もあり、2ヶ所しか実施しないこととなり、どの場所を先にやるのか優先順位を考えることとなったことがあった。

○カーブミラーが空き家の曲がり角に付いていたが、その空き家が整地され、新築アパートが建てられ隅切りがつくられ、その隅切りの位置にカーブミラーが付けられたため、意味がなくなってしまった。その際に安全対策課にカーブミラーに腕を付けるなどの要望をした。その結果、道路に色を塗装し、止まれの表示、交差点表示の看板を設置することとなり解決した。

○一自治会がそれぞれで動いてはなかなか出来ないことがある、また、地域として見落とししている場所はそのままになっていることもあり、地区の中でも差が生じている。

→安全対策部会を作ればお互いに話ができて、地区全体で状況の共有ができる。

松浪地区としての要望であれば、行政も動きやすいのではないかと

○昨年、市道1430号線の交通安全対策について、市民集会で要望し、その後、市がトップダウンで迅速に対応したということがあった。

→それぞれの自治会で要望してもあまり進まなかったことが、市民集会で松浪地区として要望することにより迅速に対応してくれるという部分があると思う。

○防犯灯についても、設置距離等の条件はあるが、交渉次第ではこの条件には関わらず設置してくれることもある。

→自治会の防犯灯の管理の仕方、市への交渉次第という部分があるので、地域によって差が生じやすい状況である。

○松浪一丁目自治会の白石氏が警察OBであるので、そういった方に参画してもらうこともよいのではないかと。

→昨年、安全対策分野で熱心に活動していただいた小川氏、日野氏に参画してもらうのもよいのではないかと。

○以前、道路管理課長から安全対策分野に関する要望を一本化してほしいとの話があった。

①「通学路」：学校・PTA→学務課→安全対策課又は道路管理課

②「通学路、通学路以外の道路」：自治会→市民相談課→安全対策課又は道路管理課

→①では通学路安全点検結果について自治会に対しての情報共有がない。

→それぞれの小学校やPTAで単独で要望するというのではなく、地区全体として要望を一本化して、地区で情報共有した上で、市に要望するということが、安全対策部会ができればできると思う。

○学校の通学路安全点検の結果については、PTAがまとめ、学校に提出し、学校から学務課へ提出しており、自治会に情報共有されていないため、PTAと自治会の両方から同じ要望を出してしまうなど、効率的・効果的に安全点検ができておらず、松浪地区全体を総合的に見た中で対応ができていない。

○発会するためには、「部会長を誰にするのか。」「メンバーは誰にするのか。」を決めていく必要がある。

○松浪地区の中でも、地域によっては、暗い場所、明るい場所に差がある。

安全対策部会を設け、自分の地域以外の場所を見ることにより、その地域の人では気が付かなかったこ

とに気づき、地区としての安全対策に関する議論をすることができる。

○商店街の街灯の管理をどうするのかということも課題としてある。

○子どもを守る地域の会では、地区を横断的に見て意見交換等を行うので、自分の地域でない他の地域を見ることができてよいと思う。

→地区全体を見ることにより、地区としてバランスを取りながら統一的な対応ができる。

→市道1430号線の問題については、市民集会で取り上げられたので解決されたという部分があるが、その他の場所でもそういった地域があると思うので、安全対策部会ができることによって、地区全体で統一的な対応ができると思う。

○安全対策に関すること全てを、まちぢから協議会で取り組めばいいということではなく、「それぞれの団体が個別に取り組むこと」と、「地区全体として取り組むべきこと」があり、それが何なのかということをも可視化して共有する必要があると思う。

→地区全体で情報共有して意味があることについて共有すればいいと思う。

○今日の会議で共有された安全対策分野に関する各団体の活動を1枚のペーパーに落とし、松浪地区まちぢから協議会として取り組むべきことが何かということを検討していく必要があり、そのことと並行して、安全対策部会のメンバーについても検討を進めていき、安全対策部会の取り組むことが見えてきた段階で、自治会だけでなく、PTA、推進協などにも説明を行い、参画してもらう方向で進めていく。

→安全対策部会設置に向けた会議として、各自治会の防犯部長に出席してもらい、まちぢから協議会の安全対策部会として何に取り組むかということについて議論を行ってはどうか。

→安全対策部会設置に向けた会議のリーダー、部会長候補として、前田委員になってもらってはどうか。

○安全対策部会に警察の方にも入ってもらった方がよいのではないか。

→浜須賀会館30周年の時に、平和町交番の警察、本署の地域一課が来ていた。平和町交番の交番だよりを浜須賀会館に毎月貼り出しており、警察との連携を図っている。

→自治会が警察に協力を仰ぐよりも、地区として協力をしてもらう方が連携がしやすいのではないか。

○自治会で見守り活動やパトロール等を行うことを安全対策課に申請すると、補助が約8万円程度出るので、その補助を使い、ビブスや旗等の備品を購入し、活動をしている。

○今後の安全対策部会設置に向けた方向性としては、構成メンバーとして自治会の防犯部長以外にもPTAなどの他の団体も入れていくということでのよいのか。

→年2回のPTAの通学路の危険箇所チェック、夜間パトロールは学校毎に動いているので、最初の段階から安全対策部会に入ってもらおうということは難しいのではないか。学校毎にどのような要望を出しているのかということ把握した上で、PTAに対して話をしていけば、徐々にPTA側の理解もされていくのではないか。まだ過渡期であるので、PTAは自分の団体の取り組みを進めていき、その結果についてはまちぢから協議会の中でも共有をすればよいと思う。

→点検結果については、PTA校外委員が学校で会議を開き、報告を行い、その中で優先順位付けを行い、要望を提出している。その会議に自治会は参加しておらず、情報共有が出来ていない状況であると思う。自治会に対して見守り活動に参加してほしいという依頼はくるが、その活動に関係する発行

物に青推協、PTA、PTA校外委員という名前は入っていたが、自治会が入っていなかったので、入れてほしいということを行ったことがある。

○見守り活動について、学校で取り組んでいるのは汐見台小学校だけであり、その他の小学校では地域で独自に取り組んでいる状況である。

○地域の取り組みの状況を表にして、今後どのように進めていくのかを考えるためのアイデアとして、検討を進めていってはどうか。

→地域で取り組んでいることの全てをまちちから協議会で取り組めばよいというわけではなく、個々で取り組む部分、地区全体として取り組む部分を整理する必要があると思う。今日意見交換した内容を可視化し、部会立ち上げに向けた会議で資料として出せるよう準備をする。

○学校側は、通学路危険箇所チェックや夜間パトロールを行うなど、安全対策に関して配慮しており、自治会側だけの判断では決められない部分があると思う。まちちから協議会の様々な人たちと一緒に取り組んでいくという趣旨から言えば、最初は自治会側からの組織化もよいが、将来的には学校関係の団体も参加してもらう必要があり、拒絶するみたいなことはよくないと思う。

○各学校の担当の先生に参加してもらい、警察(交番)にも入ってもらい、2カ月に1回程度会議を開き、情報共有ができればよいのではないか。

○臼井ふるさとづくり協議会は、学校が中心となり動いており、学童見守り活動が上手く進んでいると思う。

○全員が集まり議論すべきことがあるのであれば良いと思う。例えば、昨年の市民集会で線路沿いの道路にグリーンベルトをつけたことについては、PTAが中心となり要望を出して、つけてもらったということであると思う。そのことに対して市民集会の一般質問の中で、「なぜグリーンベルトつくったのか」という趣旨の発言があった。自治会とPTAの方々が事前にそのことについて話し合いを持っていなかったでそのようなことが起きてしまったと思う。そのようなことがないように、様々な人が集まって話し合うということであれば、とても意味のある話し合いになると思う。

○各小学校単位での取り組みで要望していることについて、安全対策部会で取り組むことにより、話がすぐに通るということであれば、安全対策部会の組織作りに価値があると思う。このことについては行政側が担保しないといけないと思う。自治会とPTAからそれぞれ要望を出してもらい、そのことに対して行政は仕方なく取り組んでいたという状況であったと思う。安全対策部会が発足した場合、その中で出された意見に対して行政は紳士に受け止めて早急に対応する必要があると思う。

→まちちから協議会は、地域と市の協働で取り組むことであり、地域も市も「協働」ということについてお互い共通認識を持ち、様々な分野の課題に取り組む必要があると思う。

→安全対策部会に様々な団体が参加して、議論できるような部会にならないといけないと思う。2カ月に1回の会議は各団体に結構負担がかかるので、できて年3~4回の会議、それすらもPTAが前向きに考えてくれるかどうかは分からないが、PTAが参加したくなるようなそれに見合っただけの価値のある部会をつくっていく必要があると思う。

- 部会発足当初から、様々な団体が入った中で組織することが難しいということであれば、まずは行政とのパイプをしっかりと作り上げてもらった上で一本化していけるように進めた方がいいのではないかと思います。
- まず自治会が中心となって、今まで各々が行政に要望していたことについて、一本化できればよいと思う。
- まずは、行政とのパイプをしっかりと作ってもらった上で小学校や中学校が加わり、街全体のことについて議論をして、行政側もそのことに対して受け止められるような組織作りが理想だと思う。
- 線路際のグリーンベルトについては、浜竹一丁目自治会が要望をしており、市民集会開催前の一か月前以内に施工が完了した。
- この道は、自転車や徒歩は両方向から進んでくるので危ない。
- まちぢから協議会は、地域と市の協働の取り組みであり、カーブミラーや標識等の問題については通常の運営委員会で解決すべきことであると思っている。これまでは、自治会連合会が地区の代表としてある意味認められる部分があり曖昧な中で活動していたところがあったが、今回のまちぢから協議会については、各分野の地域団体の代表が参画し地区の代表性を持った組織として活動を行い、また行政も会議に入り取り組みが進められていくので、これまでの「地域」対「市」という位置付けではなく、地域と市の協働で進めていき、これまでと比較して迅速的に、効率的かつ総合的に地域の様々な課題を解決していけると考えている。

○今日決まったことについては、安全対策部会部会長候補として「前田委員」。各自治会の防犯部長だけを集めて発足させるということか。青推協やPTAは呼ばないということか。

- 安全対策部会である程度取り組むことが見えてきた段階で、青推協やPTAに話をした方がよいのではないか。
- 防犯部長だけ集まったとしても、小学校と関わりがないので、あまり意識がない。悪いと言っているわけではなく、現状としてそういう状況である。
- PTAが行うパトロールに自治会は参加しているのではないか。
- その協力の依頼が自治会長のところにくるので、自治会の中で4役が出たりしている状況である。
- 防犯部長に頼もうということはないのか。白井へ視察に行った時に、相手方の会長がこれからは高齢者が活動しなければ何もできないということを言っていた。何かやろうと言うときに、「できない」という考え方から入ってしまうと何もできないと思う。
- 防犯部長を集めるのはいいと思うが、小中学校との接点を持っていないので、学校やPTAとどのように連携して取り組もうということが思い浮かばないのではないか。
- 青推協を入れるかどうかということは、まず防犯部長を集まってもらい、今後進めていく中の話し合いで決めていくということではないか。
- 今のところなく、小中学校との付き合いはなんとなく4役がやることになっている。
- 防犯部は高齢者の女性が多く、楽な仕事だと思って受け入れてくれている現状がある中で、防犯部長にまちぢから協議会に参加してもらおうとなると、負担が大きくなり担い手が少なくなるのではないか。
- そういう話になると何もできなくなるのではないか。
- 防犯部は講習会を行う程度しか実施しておらず、危険箇所チェックと夜間パトロールについては、PTAと校外委員の取り組みである。
- 防犯パトロールは自治会で自発的に行われている取り組み。
- 青推協が入ればいいのか。
- 青推協にはPTAが入っており、青推協は各小学校区で活動しているので、青推協に入ってもらって

もよいのではないかと思った。

○安全対策部会で何に取り組むかはっきりしなければ、どの団体がどのような形で参画すればよいのが見えてこないのではないか。進め方としては、器だけを用意しておいて入ってもらうという方法、安全対策部会の目的・取り組む内容を明確にした上で参加してもらうという方法の2通りがあると思う。

2 市民集会（9月14日（土）開催）の質問事項の取りまとめ及び進め方について

○スケジュールについて確認

- ・7月20日（土）までに各団体からの質問事項を切→平松会長データ入力する
- ・7月末までにまちぢから協議会から市に質問事項を提出
- ・8月末までに市からまちぢから協議会へ回答

○例年の市民集会では、昨年の市道1430号線のように、地域から市へ要望するという形で、「市」対「地域」という立ち位置の中で開催されてきた。しかし、今年については、まちぢから協議会が主催し開催するという事は、「市」と「地域」が協働で取り組むということであり、市民集会の中では、できるだけ、お互いが対等の立場で連携・協力できるよう、テーマを決め討議を行い、市と地域と一緒にそのテーマについて意見交換を行うべきではないかと思っている。また、まちぢから協議会は、普段の運営委員会や部会に職員が出席し、市と地域が日頃から連携し取り組みを進めており、カーブミラーや道路標識の設置要望などの通常のまちぢから協議会の取り組みの中で解決できることは、通常の会議の中で解決図っていく方向で進めていきたいと思っている。

→市民から出される要望以外に、市側で討議してもらいたいテーマがあれば、それを討議事項にするのが一番いいと思う。以前からこのことは、市におねがいしているが実現できていなかった。

○市の回答が長く、はっきりしない部分があるので、YESかNOかはっきりと回答をもらいたい。

→事前に回答をもらい、こういう問題についてなんとかしたいという気持ちは強い。

→事前の回答が的を得た答えであれば、当日の中では除いてもよいとは思う。市も地域もお互いに、協働という意味を理解し、共通認識を持った中で市民集会を進めていく必要がある。

○地域の各団体から出された要望の仕分け作業は、7月末までに行う必要がある。

→要望として集まったものは平松委員がパソコンで入力し、そのデータをメールで回した方がよいのではないか。

→市民集会で出す出さないかは、市から回答をしてもらい、その上で、市民集会で取り上げるかどうか考える。

→仕分け作業とは、個人の利益に関することや、日本の教育についてなど大きな問題について、その程度の仕分けという意味である。また、意図的に、要望事項であがってきたことを討議事項にした方がよいということもあると思う。

→時間があれば、事前回答についても部長さんから話してもらってもよいが、時間的に難しいのではないかと思う。

○討議の内容については、要望の中身にもよるが、もし何もなければ市側から提案してもらいたい。

○今年は、地域担当職員がいるので、地域の市とのパイプ役として交渉をしていきたい。

○昨年、市民集会の中で警察を呼ぶという話になった。呼ぶ呼ばないは、出てくる要望、テーマ毎の討議事項で考えていけばよいのではないか。

○いくつか気になっていることの一つとしては「自転車のマナーについて」がある。

○参加人数が少ないので増やしていった方がよい。

○当日の会場作りは、まちぢから協議会の委員にお願いしたい。

3 連絡報告・情報交換等

○別紙「小型家電の分別」について説明

→ケータイ電話についてはメモリを消すために穴開け用の工具を置いておき、穴を空け使用不能な状態にしてから回収。

○別紙「自治会加入の案内のパンフレット」について説明

→自治会未加入者に対する加入促進のパンフレット、各自治会区域の未加入者の人数分を印刷し、配付予定。その他、市役所、不動産屋で配布予定。

○移動式ホース格納箱を置くスペースの報告について

→8月9日までに提出してください。

○自治会ホームページの更新を停止中

→8月20日に再開予定、毎月15日と30日に更新予定。

○自治会長研修会について

→11月9日（土）午後2時30分に開催

○市庁舎建て替えに伴い、駐車場が使用できなくなり、代替えとして市営駐車場を使ってくださいとのこと。市役所利用する方は割引があるとのこと。

→市の西側駐車場は267台分あり、市営駐車場は466台あるが、一般の利用者もある中でどれだけ置くことができるのかということが、連絡協の中で意見として出ていた。

○防災無線が傍受できるラジオを作り、1万円するものを2千円で販売するとのこと。ただし、各自治会には2台程度は無償配付するとのこと。1000台製造するとのこと。電波使用料1ヶ月50円。

→無償配付の2台の電波使用料は市が払うとのこと。

3 今後のスケジュールについて

- ・ 8月9日（金）【防災対策部会防災訓練実行委員会】 18時30分より 松浪自治会館
- ・ 8月21日（水）【運営委員会】 18時30分より 松浪自治会館
- ・ 8月30日（金）【防災対策部会防災訓練実行委員会】 18時30分より 松浪自治会館
- ・ 9月18日（水）【運営委員会】 18時30分より 松浪自治会館

4 その他

○松浪小中学校の引き取り訓練について

- ・地域が学童の見守り活動を行うとの話になっていたが、美住町自治会としては合意していないので、合意してから、正式決定したいと思っている。決まり次第報告する。

○会計からの報告

- ・消防分団、防犯協会へ分担金を支出した。
- ・3 推進協へ補助金支出した。
- ・地区老連へ補助金を支出しない旨を連絡。

○盆踊り大会の模擬店について

- ・17日担当：14時30分から準備スタート、各自治会から1名手伝い
 - ・18日担当：撤収作業（時間帯としては20時前後）、各自治会から1名手伝い
- ※油ものは、冷ます必要があるので、なるべく早めに終了させる方向で進めましょう。

○コミュニティセンターについて

- ・第6回建設検討委員会で意見交換した内容を反映した設計プランを確認した。主な変更点としては、吹き抜けなし、2階に倉庫を増設、自転車置き場を東側に設置。
- 第6回建設検討委員会において、その時に示された図面の大々的な変更はしない中で、出された意見を反映するという事で図面の最終決定をするということで合意した。また、設計者にはもう一度会議を開いて検討しないといけないような修正をしないでくれということを伝えている。本日、確認した案では、まだ若干の修正は必要であるが、第6回会議の合意を変えない中で調整可能とのことであった。今後、最終調整を行い、出来次第、事務局から各委員に送付するとのこと。
- 基本プランについての近隣説明会は実施しないが、柴田氏への個別対応については、西立面・南立面の日影図をポストティングし対応する予定。

以上